－ 5 － **田代青波**が見つけた滑稽句　　2008 年 8 月 26 日

～「平成の滑稽」より　越前春生

さしあたりやることなくて水を打つ

鈍才の私は、俳句をつくるのに写生や句会とやらで結構忙しい。
この句のように余裕綽々で秀句を作れる人がうらやましい。

～「平成の滑稽」より　勝山伸子

ばつ悪し案山子と同じ格子柄

通信販売で以前購入したコート。
電車で鉢合わせし、どちらとなく車両を乗り換えたことでした。

～「平成の滑稽」より　白井道義

鶏頭の十四五本といふ半端

正岡子規という　偉大な人の句であれば、何もかも佳しとする世間。
ながいものに巻かれないぞという俳人としての気概を感じる。

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。